

Dokkyo Medical University Koshigaya Hospital

獨協医科大学

越谷病院だより

2009.6
15号

祝 開院25周年



開院当時の病院正面(昭和59年)
昔は玄関前に噴水がありました

● 主な内容 ●

開院25周年記念感謝の集い開催される	2~3
新型インフルエンザの対応について	4
病院機能評価の更新認定	4
本学関係者による健康情報番組への出演について	5
ご支援のお願い	5
病院への手紙	6~7

越谷病院「開院25周年記念感謝の集い」開催される

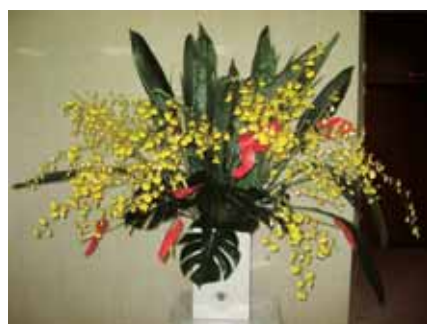
越谷病院は本年6月で開院25周年の節目の年を迎えることから、これを記念し4月23日（木）に「越谷病院開院25周年記念感謝の集い」を開催いたしました。

当日は1部・2部構成で、第1部はサンシティ越谷の大ホールにおいて、華道家でタレントでもある假屋崎省吾氏と元フジテレビアナウンサー木佐彩子氏を招き、フラワーデモンストレーション&トークショーが行われました。会場には教職員や招待者のほか、院内における告知によりお集まりいただいた一般の方など約750名の方々が来場されました。



「美をつむぎ出す手を持つ人」と評され、繊細かつ大胆な作風と独特の色彩感覚に定評のある假屋崎氏により、舞台上で優雅な音楽に乗せ5作のフラワーアレンジメントが行われ、司会の木佐アナとともに作品に対する思いや、お花にまつわるエピソードなど楽しいトークが展開されました。また、最後には会場からの質疑応答なども行われ、大変盛況に催されました。

なお、舞台上でアレンジされたもののうち2作品については、翌日から約10日間に亘り病院正面及び西側入口に展示したことから、多くの外来患者さまやお見舞いの方々が足を止め、デジカメや携帯電話などで写真に収める光景が見られました。



続いて第2部では、サンシティ「桐の間」をメイン会場とし、医師会・行政関係の方々・学園関係者・名誉教授・関係企業・教職員など約300名が集い盛大に開催されました。

会場の入口には昭和56年の地鎮祭に始まり、越谷病院の建築風景や開院式など25年の歴史を物語る12枚のパネルが展示され、開会の辞として筑田病院長から、当院のこれまでの歴史と今後の抱負が述べられ、とりわけ地域から信頼される理想的な医療機関を目指して、引き続き医療サービスの質の向上に全力を尽くしますので、皆さまの絶大なるご協力をお願いしますとの言葉がありました。

また、主催者代表として挨拶に立った寺野学長から、越谷病院が開院されて以来、順調な発展を続け25周年を迎えることができたことは、様々な面でご指導、ご鞭撻、ご協力をいただいた関係各位の皆様と、日々業務に励まれている全教職員のお陰である旨、感謝の意が述べられました。

続いて、板川文夫越谷市長、市川純二越谷市医師会長からご祝辞をいただき、そして越谷病院初代病院長を勤められた岩月賢一



名誉教授から寄せられたご祝辞が野崎副院長の代読によりご紹介されました。

引き続き、北島敏光大学病院長のご発声により乾杯が行われ、終始和やかな雰囲気のもとで懇談が続きしました。



筑田病院長

～写真でみる越谷病院25年の歴史～



地鎮祭(昭和56年10月8日)
秋晴れに恵まれた当日の風景



地鎮祭(昭和56年10月8日)
開院理事益を始めとする学園関係者 福田超夫元総理大臣
田中龍夫文部大臣他 多数の臨席を得て行われた



外束棟の工事風景(昭和57年9月頃)



開院式(昭和59年6月21日)
岩月病院長、北村常任理事によるテープカット



竣工当時の航空写真(昭和59年)



研究棟新築(平成3年7月)

◆ 新型インフルエンザの対応について (6月1日時点) ◆

病 院 長

新型インフルエンザまん延地域 (*1) や国内において集団感染の疑われる地域 (*2) に滞在後、7日間以内にインフルエンザ様症状 (*3) がある方は、**当院を受診される前に必ず発熱相談センターもしくは最寄りの保健所にご相談ください。**

また、感染の可能性がある患者様は、発熱相談センターや保健所に指示されました医療機関をマスク着用の上、受診されますようお願い致します。

- *1 新型インフルエンザまん延地域
メキシコ、アメリカ (本土)、カナダ 【平成21年6月1日時点】
- *2 国内において集団感染の疑われる地域
兵庫県及び大阪府の一部の市 【平成21年6月1日時点】
- *3 インフルエンザ様症状について
38℃以上の発熱、鼻汁、のどの痛み、せき、悪寒、関節痛等

○発熱相談センター 埼玉県疾病対策課 24時間対応

連絡先：048-830-3572 (または3557)

○越谷保健所 平日8時30分から17時15分まで

連絡先：048-964-1266

病院機能評価における更新認定を受けました

当院では昨年12月3・4・5日の3日間に亘り (財) 日本医療機能評価機構による病院機能評価訪問審査を受審しましたが、今般、当機構の定める認定基準を満たしていると認められ、無事更新認定を受けることができました。

平成19年10月の受審準備スタートから書面審査書作成や院内の整備、そして各部署訪問審査の受入れまで、長期にわたり全教職員が努力した結果であると思います。これを機に、全教職員一致協力して、さらにより良い病院づくりを目指していきたいと思っております。



本学関係者による健康情報番組（テレビ埼玉等）への出演について （お知らせ）

獨協医科大学では地域に根ざす医育、研究及び医療機関を目指し、テレビ埼玉を始めとする関東UHFネット局により、関東地区を対象に「ヘルスケアTV～健康手帳2009～」と題する健康情報番組を本年1月から放映しております。

今回ご紹介する放送予定には当院の教授はおりませんが、下記のとおり獨協医科大学病院及び獨協医科大学日光医療センターの教授が出演予定となっております。視聴者の皆様に医学・医療の知識を提供することで、少しでも地域の方々の健康意識の向上及び健康増進に役立てていただきたいと考えておりますので、ぜひご覧ください。

1) 番組名：「ヘルスケアTV ～健康手帳2009～」

2) 番組放送予定（各ネット局の番組の中で放映）
テレビ埼玉・チバテレビ・テレビ神奈川3局ネット
「朝まるJUST」
毎週水曜日6：30～7：00



3) 出演者・放映日・テーマ
（獨協医科大学関係者）

福田 健	教授	6月 3日（水）	： 「喘息」
小野 一之	教授	6月10日（水）	： 「ドクターヘリ」
緑川 由紀夫	教授	6月17日（水）	： 「ペインクリニック」
有阪 治	教授	6月24日（水）	： 「子どもの低身長」
笠井 貴久男	教授	7月 1日（水）	： 「メタボリックシンドローム」

ご支援のお願い

当院では、「獨協医科大学教育研究振興基金」として個人・企業の皆様方からのご寄付を募り、診療・教育・研究の充実をさらに推進するための資金とさせていただきますと考えております。

ぜひ多くの皆様からのご支援・ご協力をお待ちしております。

◆ご寄付いただいた方にはご芳名を「獨協医科大学越谷病院寄付者芳名版」に刻印し掲示させていただくほか、獨協医科大学においても寄付の記録と顕彰をさせていただきます。

◆詳しいお問い合わせは事務部または下記まで。

<http://www.dokkyomed.ac.jp/goshien/>



当院における夏季省エネルギー推進運動の実施について

昨年4月1日から改正省エネルギー法が施行されたことに伴い、当院においても政府が推進する「地球温暖化防止及び省エネルギー」の施策への対応として、院内の設定温度を28度としておりますのでご理解の程よろしくお願いいたします。

病院への手紙にお答えいたします

～当院の各部署に設置してあります、ご意見箱に寄せられる
患者さまのご意見・ご要望等「病院への手紙」に対する回答～

* 内視鏡部にスリッパをおいてほしい

〈59歳男性〉

大腸ファイバー検査をしていただいた者です。着替えてからはせめてスリッパくらい用意して欲しいです。下着も取ってるのに革靴で歩く姿は？

お答えいたします

当院では検査のための更衣後、検査室までの移動時に転倒の恐れがあるため、履きなれた靴を使用していたでいます。また、鎮静剤や抗コリン剤の使用に伴い検査後に腹部膨満感による気分不快やめまい等による転倒の恐れもあります。

加えて、裸足になることから、感染管理の面からも白癬菌・便汁などの付着による感染等を考慮しスリッパは使用していません。

このような事情をご理解いただければと思います。

* 喫煙ルームを設置してほしい

〈41歳男性〉

南口守衛室（夜間出入口）周辺での喫煙について、非喫煙に受動喫煙を受けない権利があるように喫煙者にも喫煙の権利があるはずですが、たばこを吸わない人の権利ばかり主張するのはいかがなものでしょうか？

医者から止められているならともかく、直接治療に影響のない患者のために完全換気をつけた喫煙ルームの設置を希望します。

お答えいたします

今回のご意見は、喫煙者の心情的な部分も含め充分理解できることとされており、予てより同様のご意見をいただいております。

その一方で、喫煙に対する様々な規制運動が展開されている昨今の社会情勢を踏まえ、医療機関（医療従事者）として、禁煙運動への役割は非常に大きいものと考えており、喫煙による健康被害や受動喫煙防止への取り組みとして敷地内全面禁煙を実施していることから、喫煙ルーム等を設置する予定はありません。

患者様及びお見舞い等で来院される皆様におかれましては、当院が地域医療の中核を担い、患者様の健康増進を使命とする医療機関であることをご理解いただき、敷地内全面禁煙にご協力を賜りますようお願いいたします。

* 4階南病棟プレイルームについて

〈33歳女性〉

子供が入院し大変お世話になりました。付き添いの際に思ったことですが、プレイルームで付き添いの親が不在の1歳くらい女の子が一人で寝ていたり、3歳くらいの男の子が高い所（イスや机の上）から飛んだりしてました。

子供が遊ぶ部屋なので、専属のスタッフが1名くらいいてもよいのではないのでしょうか？ナースステーションの前の部屋ではありますが、安心はできません。

お答えいたします

ご指摘のように自己判断のつかない小児、まして幼児に関しては大人の観察の目が必ず必要かと思えます。しかし、現状では看護師の受持ちメンバーがプレイルームでも見守るのは病児・患児の観察や処置（点滴・手術患者の移送や計測など）のため人員的に困難な現状にあり、保母や看護補助がその対応をしているのが現状です。

今後プレイルームに患児がいるときは、必ず看護師や保母が見守りに専念するよう注意を促し、それが難しい状況であれば、安全を優先し患児をベッドに戻すようにしていきたいと思えます。

* 外来待ち時間について

〈50歳女性・39歳女性・35歳女性・62歳男性・46歳女性・40歳男性 他 同様意見多数〉

- 外来での待ち時間が長い。受付してから診察が終わるまで6時間これほど時間がかかるのはどういうことか。ありえない。
- 初診受付したのが8時35分で支払い終了が15:20。こんなに時間がかかるのはシステムに問題ある。
- 予約時間が14時なのに診察が17:30とはどういうことか、1時間に何人診察できるか予定を立てて正確な予約を取れるようにしてほしい
- 薬をもらうだけなのに1時間も掛かるのはどうかと思う。もっと効率的なシステムへの見直しを!
- 初診の際の待ち時間があまりにも長すぎる。10時過ぎに受付したにすべて終わったのは16時過ぎ、待ち時間が長すぎて余計に体調が悪くなる。
- 外来での待ち時間が長すぎる。予約時間の設定に問題があるのではないかな?

お答えいたします

ご指摘の件につきましては、以前より数多くの患者さまから、同様の厳しいご意見をいただいております。大変ご迷惑をお掛けしております。

当院ではこのような状況を少しでも解消するため、予約システムの人数枠を制限することを含め鋭意検討中ですが、1日平均約1700人の外来患者さまが来院される現状においては、大学病院という性格上、診察する患者さまを制限することは非常に難しいことであり、その対応に苦慮しているのが実情であります。

同時に、現状の患者数をすべて診察するためには、予約時間に十分なゆとりを持たせることができないことが原因となり、予約時間どおりに診察できない場合が多くなっております。

また、初診の患者さまの待ち時間が長すぎるとのご指摘に関してですが、現状では原則として予約の患者さまが優先されていることに加え、初診の患者さまは必要な検査が多いことから、検査のない再診患者さまと若干順番が前後することなどに伴い、長時間にわたりお待ちいただくことが多分にあるといった状況です。

このようなことから、初診や予約外で来院される患者さま専用に診療枠を設定するなど、新たな取り組みも必要と考えておりますが、医師の確保など様々な問題もあり、実現には至っておりません。

初診・再診を問わず、待ち時間に関しては、多くの患者さまにご迷惑をお掛けしていることから、当院としては患者さまのご希望に少しでも添えるよう、今後とも引き続き教職員一同できる限りの善処していく所存ではありますが、同時に上記のような事情にもご理解を賜りますようお願い申し上げます。

病院への手紙について

患者さまから寄せられる「病院への手紙」につきましては、週1回必ず回収し、病院長をはじめとする当院幹部役職者が目を通した上で、該当部署に回答及び今後の対応などを報告させています。

その中で改善できるものは早急に改善し、反省すべきご指摘は謙虚に反省し、検討を要するものは少しでも患者さまのご要望にお応えできるよう日々努力しております。

この「病院への手紙」については、性格上そのほとんどが匿名であることから、該当部署から直接ご本人に回答することはできませんが、皆様からのご意見を当院の貴重な財産として真摯に受け止め、より良い病院づくりの一助にしたいと考えております。

なお、皆様からのご意見、そしてその回答については、この病院だよりを通じて一部ご紹介させていただきますが、それ以外のものにつきましても、現状において可能な限り然るべき対応を行っていることをご理解賜りたいと思います。

癌の治療のサポートや ご相談をお受けします

当院 **緩和ケアチーム** は
がんを治療する患者さんとお家族を
支援いたします！

- ①痛み・吐き気・むくみなど、苦しい症状を何とかして欲しい。
- ②家に帰りたいが病状が安定せず在宅療養の自信がない。
- ③本人・家族の悩みや不安を聞いて欲しい
- ④医師から説明を聞いたが難しくてよくわからない。 などなど…
治療や生活上の心配事、聞きたいことなどをお伺いします。

■お問い合わせは…

獨協医科大学越谷病院 048 (965) 1111 (代表)
 緩和ケア認定看護師 井口 (コール 6319)
 又は、お近くの看護師まで御連絡下さい。

看護職員（看護師・助産師・夜勤専従看護師）募集のお知らせ ～当院と一緒に働いてみませんか？～

当院では、現在下記のとおり看護職員（平成21年度採用）を募集しております。

<募集要項>

募集職種	看護師、助産師、夜勤専従看護師
応募方法	看護部に直接電話連絡の上、必要書類を郵送または持参
応募資格	助産師、看護師学校卒業見込みの方および資格のある方
応募書類	履歴書（写真添付）、個人票、健康診断書、成績・卒業見込証明書 有資格者は、履歴書（写真添付）、個人票、健康診断書、免許証のコピー 応募書式及び給与・待遇等については当院ホームページをご参考ください。 http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-k/
試験日等	随時相談
応募締切	随時相談
選考方法	筆記試験、面接
合否通知	本人へ連絡

<書類の提出先および問い合わせ先>

〒343-8555
 埼玉県越谷市南越谷2-1-50
 獨協医科大学越谷病院 看護部
 TEL：048-965-9104（直通）
 ※中途採用（常勤・パートタイム）も随時受付しております。

